

第30週の発生動向 (2005/7/25~2005/7/31)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 水痘は、むつ保健所管内であらたに、**注意報**が出されました。
3. 手足口病は、五所川原保健所管内であらたに、**警報**が出されました。
4. 伝染性紅斑は、むつ保健所管内であらたに、青森保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
5. ヘルパンギーナは、五所川原保健所管内であらたに、弘前保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
6. 流行性耳下腺炎は、上十三保健所管内であらたに、**注意報**が出されました。

第30週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	14	1.75			1	0.11	2	0.40	7	1.17	4	1.00	28	0.67	-5
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.38	15	1.50	3	0.33	3	0.60	2	0.33			26	0.62	9
(62) 感染性胃腸炎	24	3.00	8	0.80	4	0.44			3	0.50	10	2.50	49	1.17	-8
(63) 水痘	15	1.88	6	0.60	5	0.56	14	2.80	7	1.17	24	6.00	71	1.69	21
(64) 手足口病	21	2.63	19	1.90	11	1.22	25	5.00	12	2.00	10	2.50	98	2.33	0
(65) 伝染性紅斑	12	1.50	7	0.70					11	1.83	12	3.00	42	1.00	13
(66) 突発性発しん	2	0.25	1	0.10	2	0.22	1	0.20	5	0.83	4	1.00	15	0.36	-5
(67) 百日咳															0
(68) 風しん			1	0.10	1	0.11							2	0.05	1
(69) ヘルパンギーナ	42	5.25	48	4.80	16	1.78	31	6.20	18	3.00	46	11.50	201	4.79	22
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13	2	0.20	6	0.67	1	0.20	22	3.67	1	0.25	33	0.79	6
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50	1	1.00	3	1.50			6	0.55	-7

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

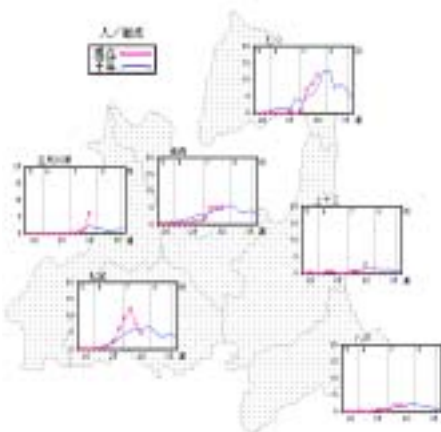
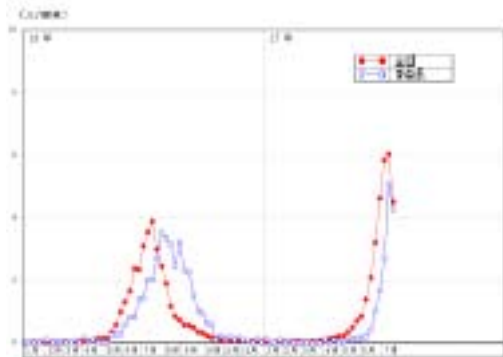
は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 6人 (17年計 76人)

感染症の窓

ヘルパンギーナ



全国的に患者報告数が多く推移し、本県でも例年以上の発生となっています。

今年は、全国的にコクサッキーA6型ウイルスが多く検出されています。

臨床症状: 38~40 の発熱で発症し、同時に咽頭痛を訴えます。また、喉に、直径2~4mmの小水疱または浅い潰瘍が認められます。

感染経路: 急性期は口腔からの飛沫による感染が多く、また、便から手を介しての間接的経口感染もみられます。

予防法: うがいや手洗いを励行してください。